

FOREVER
FOREVER
FOREVER
FOREVER



大川誠 個展

けっいたいなものがみたい、
永遠に。



2017年9月21日(木)
～10月21日(土)

月～土 9:00～18:00
日・祝 9:00～17:00
甲南大学ギャラリー・パンセ (甲南大学5号館1階)

入場料無料
会期中無休

Galerie
Pensee
ギャラリー・パンセ

上:『けっいたいなものがみたい』制作年不詳、42×58.5cm、水性マーカー・紙
下:『赤い人白い人』2007年、72×51.5cm、アクリル・パネル

EVER FOREVER

FOREVER FOREVER FOREVER FOREVER FOR

大川誠個展

けったいなものがみたい、

永遠に。

甲南大学では毎年、国内外で活躍している作家による展覧会を行っています。展覧会の企画・運営は、博物館実習生が中心となって取り組んでいます。今年も、大阪阿倍野で自由なアート活動を行っている知的障害者の生活介護施設アトリエコーナスに所属し、Makoot [マクート] という羊毛フェルトで作られたオリジナルの人形や数々の平面作品を残した大川誠の個展を開催いたします。

2016年春、大川誠は天に召されました。生前の大川は、自らの行き場のない感情をぶつけるようにして制作を続けていました。しかし、そこには負の感情だけでなく、大好きだったものに対する愛やユーモアが込められているように思われます。彼が旅立った今、残された作品たちが彼の代弁者といえるでしょう。彼の目が、手が、心が何を感じていたのか…作品を介して彼自身の魅力に触れ、皆様の障害者に対する価値観が変容する機会となることを願います。「けったいなものがみたい」。そう、作中に残した彼の見た世界が、いかに優しく、激しく、けったいなものであったか、作品を通して受けとめてもえたらと思います。



《ピン》制作年不詳
90×90cm
アクリル、ピン・キャンバス



《アトリエ》2005年、727×117cm、アクリル・キャンバス



大川誠 2014年 アトリエスタッフ撮影

大川誠（おおかわまこと / Makoto Okawa）1976-2016。

大阪府大阪市出身。

2005年より絵画作品と、羊毛を針で刺し続ける事によって作られるオリジナルのフェルト人形 Makoot の制作を開始する。ため込んでいた感情やエネルギーを押し込める様にして生み出される作品は、激しいエネルギーの中にユーモアを感じさせ彼自身を現しているようである。残された作品たちは、彼の化身なのかもしれない。

<出品施設の紹介>

アトリエコーナス：Atelier CORNERS

1993年に障害者の母親達によってコーナス共同作業所として設立された後、「ひとり一人が自己を自由に表現するアート活動を始めたい。地域に開かれた場を作りたい」と2005年にリノベーションした町屋に移転。アートを中心に様々な活動を行う生活介護施設アトリエコーナスとして活動を開始。制約や制限を外し自由に生み出されたエネルギー溢れる作品は、国内外問わず評価を得ている。また施設は誰もが立ち寄れる日常的な交流の場として開かれ、地域に根ざした活動や多様なネットワークの構成にも努めている。



アトリエコーナス外観



Makoot [マクート] 067

<関連イベント>

トークイベント

「大川誠の世界—その根源にあるもの—」

10月15日（日）14:00～16:00

ゲスト 中津川浩章

（美術家 / アートディレクター）

白岩高子（アトリエコーナス施設長）

聞き手 服部正（甲南大学文学部）

会場 甲南大学 1号館 1-22 教室

聴講無料・予約不要

甲南大学ギャラリー・パンセ（甲南大学 5号館 1階）

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

阪急神戸線岡本駅より西へ徒歩 10分、JR 神戸線

摂津本山駅北口より北西へ徒歩 12分

※ 駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

<お問い合わせ先>

078-435-2572（担当教員：服部）

078-435-2675（文学部事務室）

<開館時間>

月～土 9:00～18:00

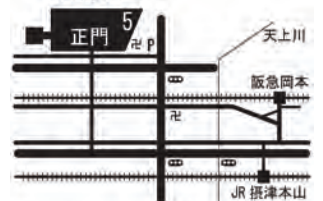
日・祝 9:00～17:00

<観覧料金>

無料

Galerie
ギャラリー・パンセ
Pensee

甲南大学



FOREVER FOREVER FOREVER FOREVER FOR